



資料1-13 バイアーナ(バイアの女性)

<https://alemdastendencias.wordpress.com/tag/traje-tipico-das-baianas/>

に流布しています。

バイアの文化のなかでもとくに重要なものとして食文化があります。彼女たちは食文化にも深く関わっていますが、今回は残念ながらお話しする時間がありません。

解放の原動力となる アフロ・ブラジル文化のポテンシャル

これまで見てきたアフロ・ブラジルの文化はすべて、身体に関連するものです。ノブレガという研究者は、「哲学者のメルロ＝ポンティは、身体性が欠如した思考を優先しすぎるあまりに、私たちが感覚を体験する身体の実現を置き去りにしてきてしまったことを私たちに教えてくれている」と指摘しています。このような指摘に対して、現在の観点あるいは理解から、身体に関する知識を、救い出すこともできると考えています。なかでもアフロ・ブラジルの文化表現の実践は、カポエイラも含めて解放の原動力となる大きなポテンシャルがあります。この「身体の道」を辿って、アフロ・ブラジルの伝統的な世界観や主体性が伝承されてきましたし、今日もカポエイラなどを通して、後世に伝え続けられています。

エッセイ

カポエイラの女性マスターたち、初来日

石井 結 FICA-Japão 練習生

✕ ストラ・ジャンジャとパウリーニャの存在は私に勇気を与えてくれる。カポエイラではいろんな出会いがあるが、今の自分を形成してきた人たちの数はそれほど多くないと思う。彼女たちは心の慈母たちだ。遠く離れていても、グループの違いがあっても、彼女たちがカポエイラの世界に「いる」という安心感はとても大きく、力にもなります。グループを越えてお互いの経験を感じ合い、助け合い、成長し、共に進んでいくことが女性たちには出来るのだと、気づかされました。彼女たちが切り開いてくれた道をただ、なんとなく歩むのではなく意識することで、これからもその道は保たれていくと、私は思います。GINGA NZINGAのイベントの中でメストラ・ジャンジャ、パウリーニャ、メストレ・ポロッカがカポエイラを通して伝えてくれたことをこれからも大切にしていきたいと思います。先生たちが蒔いてくれたカポエイラの種が、これから日本の大地の上で成長していくのが楽しみです。

